

**3月21日 JDS 埼玉浦和支部のスポーツイベント****ふうせんバレーやダンスなど、体を動かして楽しんだ一日**

3月21日(月・休)、埼玉県障害者交流センターで、交流センターのスポーツ担当の皆様が企画・運営に当たったスポーツイベントが開催され、多くのボランティアのご協力により楽しい一日を過ごしました。

県内にあるダウン症の親の会の協力もあり、75名のダウン症のある人とその家族が集まり、大人も子どもも、ふうせんバレーを楽しみました。簡単なゲームもあり、みんなで手形をとって横断幕を作成。最後は全員でダンスをしましたが、これが圧巻!

初の取り組みでしたが、これだけ多くの方がダウン症のある人たちに関わってくれただけでも、親としては嬉しい限りでした。普段関わりのない他団体との交流もでき、また、交流センター内の他の施設を利用し

ていた方からも応援をいただきました。

残念ながら、親でも3月21日のことを知らない方や「そうだったね」という程度の意識の方が多いのが現実です。まずは仲間から、この日を境に意識改革をし、外にも発信していけるといいなと思っています。

**【埼玉浦和支部(コスモス)：佐藤 美也子】**



大人も子どもも楽しんだ全員ダンスは圧巻でした!

**3月21日 北海道小鳩会(ダウン症児・者親の会)の啓発活動****来て!みて!ファクトリー**

世界ダウン症の日の全国での啓発活動を知り、北海道小鳩会で取り組み始めて3回目は、大型商業施設「サッポロファクトリー」のアトリウムでの開催になりました。

屋内庭園が広がるアトリウム会場に、パネルを並べ、とびさりの笑顔の写真展を開催。ステージでは、ダンス・獅子舞・よさこい・自己アピール等を発表。そして、ファクトリー内でのチラシ・リーフレットの配布などでも、本人たちが大活躍!!

さらに、北海道大学病院の山田先生方のご協力により「ダウン症ってなあに!? ~教えて!! ダウン症の事~」「世界に一人だけの私 ~遺伝と多様性について考える」の2つの講演会を実施するという、たいへん盛り沢山の一日となりました。

当日は、ダウン症のある人たちとその家族、支援してくださっている皆様、あの場に偶然いらした一般の方々等、たくさんの素敵な笑顔であふれ、会場のあちこちで交流の輪が広がっていました。これからも、みんなの笑顔で活動を続けていきます!

**【北海道小鳩会 会長：三好 明子】**



写真展、ステージ、講演会と盛り沢山だった会場風景